

2022年 4月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

○ 4月 3日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)

司会：武井 めぐみ 感話：大屋 智代

聖書講話：マルコによる福音書 11章12～26節

「イエスの神殿粛清— (2) その意味するもの」 水戸 潔

○ 4月10日 (日) イースター集会 アクト研修交流センター36セミナー室

司会：水戸 潔

聖書講話：ルカによる福音書 24章13～35節

「私たちの心は燃えていたではないか」 武井 陽一

感話会：(イースターを迎えて、1人5分程度の感話)

○ 4月24日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)

司会：武井 陽一

聖書講話：詩篇137編 コロサイ書1章24節

「キリストの艱難の欠けたるを補う」 内坂 晃

集会後、昼食の弁当を頂き、内坂晃・弘子夫妻と交流の時をもちます。

希望者は 武井 めぐみまで申し込みください。

心の貧しい人は、幸いである

溝口 正

私の心に浮ぶ心の貧しい人は、自分の心の奥底に汚(けがれ)とエゴイズム(利己主義)が罅(とぐろ)を巻いていることを知って、己(おのれ)の罪深さに人知れず涙を流している人である。

しかし主イエスは、「心の貧しい人人は幸いである。天の国はその人たちのものである」(マタイ5・3)と約束された。その御声を心に聴いた人人は、その場に御子キリストが共におられることの幸いに気づいたであろうか。十字架・復活は、御子はその約束を果すための神のご計画であったと知るとき、心は喜びに踊(おど)る。心の貧しい人は、実は最も心の豊かな人になれるのである。

2000年7月 『復活』第404号

二つの道

溝口 正

キリストを信じる者が、この世に処する生き方に二つの道がある。一つは、心にイエスの十字架、復活を信じつつ、この信仰を外に言い表わすが、この世の問題にかかわることを避け、時代の流れに棹(さお)さして生きる道である。もう一つは、前者と同じように、十字架、復活を心に信じつつ、その信仰を外に言い表わすと同時に、この世の不義不正に対しても、主に押し出されるならば、黙(もだ)すことをせず、信仰による愛の戦いを回避しない生き方である。この二つの道は、病気や市障害や老化などによって不自由な人にも、どちらの道を歩むかは、祈りの内容として神の御前に捧げられるであろう。どちらに道を歩むかは、その人の自由である。同時に信仰者が神から示された道をいかに誠実に歩むかは、その人自身の責任である。

2000年11月 『復活』第408号